

# 令和5年度第1回御嵩町総合教育会議

日時:令和6年1月10日 11:00～

場所:御嵩町役場本庁舎2階 第2委員会室

出席者:

町長部局: 渡辺町長、各務総務部長、古川総務防災課長、加藤行政管財係長

教育委員会部局: 奥村教育長、田中教育委員、中瓦教育委員、山口教育委員、中島教育委員、筒井教育参事、尾崎指導主事、日比野生涯学習課長、玉川学校教育係長

事務局 定刻前ですが、ただいまから、令和5年度第1回御嵩町総合教育会議を開催させていただきます。初めに、渡辺幸伸町長からご挨拶をお願いいたします。

渡辺町長 皆さんおはようございます。大変お忙しい中ありがとうございます。例年ですと年2回行われておりましたが、コロナの関係で開催が取りやめになったり、1回に限って開催されておりました。今年も今回が初ということで、1回目になりますけれども、ぜひよろしく願いしたいと思います。また、後ほどお話をしようと思っています。よろしく願いいたします。

事務局 それでは本日の議題の方に移らせていただきます。御嵩町総合教育会議設置要綱第4条の規定により、以降の会議の運営につきましては、町長をお願いをいたします。なお、本日の会議は11時50分終了を予定しております。それでは、町長よろしく願いします。

渡辺町長 それでは要綱に基づきまして議長を務めさせていただきますのでご協力をよろしく願いしたいと思います。はじめに今日の議題に入る前に教育委員の皆様からのご提案にもよりまして、町長並びに教育委員の教育に対する思いということで、テーマにした意見交換を行いたいというふうに思っておりますのでよろしく願いしたいと思います。

渡辺町長 それではまず私から、思いというか本当ざっくばらんな話になりますが述べさせていただきたいと思いますのでよろしく願いしたいと思います。カテゴリとしては5つぐらい大きく自分の思いとしてはあります。まず御嵩町という立場上も含めて地域との連携とか繋がりという意味合いでございます。ぜひふるさと教育、既に進めら

れておられまして、成果等も含めて、大変一生懸命各学校の方でやっていたいておりますが、更にということで、御嵩町やっぱり町内の人、町内の学校に通ってる人はよく知ってほしいという思いもあります。逆に裏返せば、御嵩町があまりPRしていないということもあるので、学校側に対して御嵩町にこういう特色があり、こういう町なんだよっていうことをよく知ってもらうことをお互いに協力してやっていき児童・生徒たちにぜひ体験していただきたいという思いがあります。それからぜひ町外に対しても、御嵩町ってこんな街だよっていうことを、プライベートも含めて、PRしていただけたらと思っております。ファンクラブ等の立ち上げを予定しておりますので、そういったことも含めて、進めていけたら思っています。それとともに御嵩町を訪れる人にある意味、観光大使、広報大使的なイメージでぜひ御嵩町のことを伝えて欲しいと思います。これはインバウンドの部分も含めてだと思えます。せつかくの語学力も含めて、伝わっていくと良いかと思っております。部活動の地域移行は後ほどまたお話あると思いますのでその節で結構ですので、それは地域連携という中でも話したいと思っております。学校は校長先生にも少しお願いをしましたが、こういう地域の活動をするという情報が、学校によっては、少し止まっていたり、流れ方が不自然で、みんなに行き渡らずにそんなもの知らないということがありましたので、こういう行事があるという情報を児童・生徒たちにもしよかったら、参加してみてくださいというものがやはり学校内のここに掲示してありますで終わったりとか、そもそも持ってきたものが、机にしまわれていたりということで、なかなか児童・生徒たちも知らずに学校側とすると、何か先生が出なければならぬ働き方改革の中でどうだろうという思いで、先入観で受け取られた方もおられたみたいなので、学校側に先生を出してくれとは言いませんので、こういう行事がありますよという情報だけはしっかり流しておいてほしいということをお各校長にも添えました。ただ可能かどうかは別として、町内には3つの小学校、3つの中学校、高校は2つありますので、有事の際、あるいは時間外、学校教育以外の場であっても、地域で活動したり開放したりっていうことももう少し拡大して、対応できないかということも各校長と話をさせていただきました。地域の集まりであるとか放課後児童クラブ等もありますが、そういったところで、もし1スパンでも2スパンでもというようなことを、これセキュリティとの話もありますので、一筋縄ではいかないかもしれないですが、可能性として一度考えてはどうかというような話もさせていただきました。特に今、石川県、能登半島を中心に災害に見舞われておりますが、その際に避難所になっているところもたくさんあります。そういった際に、ここが有る程度そういったところも活用できるというような資材とか、備蓄

とかっていうのはあってもいいという思いも、これは個人的な意見です。あまり町長としてということではありませんが、山口さんいらっしゃるので、防災の観点からも何か活用方法というのはあれだけの施設ですから、活用できると良いのではないかと考えております。また、これはちょっと僭越な部分もあるかもしれないですが、教員の質とか量とかという話になるかと思いますが、まず量という言い方ですと、やはり町でも、あるいは古巣の県でもそうですが、やはり採用に対しての志願者というのはすごく少なくなってきています。それは魅力以外に少子化もあるでしょうし、他に自分で何か手を挙げたいとか、ユーチューバーみたいな個人的に走る部分も含めると、やはりどこの企業も含めて今取り合いになっていると思います。売り手市場だと思っておりますが、それによって片方で、教員は確保しなければならぬという思いもありますので、あまりそれを行き過ぎたことを両者がやり続けると、スキルであったり、教員の質そのものが落ちてしまう可能性があるのも、しっかりそこら辺を見極めて採用という部分と、プラス、作業した後のスキルアップ等もぜひ学校さんの方でお願いしたいということは、少しお伝えさせていただきました。あと質に対しても、教員の方々、学校の体制としては校長がいて、教頭がいて、その他学年主任とか、教務主任にとかがいらっしゃると思いますが、やはりマネジメントをする側の人が大変だと思います。少ないというか、いじめ等々の問題も含めて対外的な保護者さんの窓口というのも含めて、教頭先生が担ってるとは思いますが、いかにも集中してるので、やはり職員に当たっては、お子さんへのというのは教員の方も対応できると思いますけれど、職員へのマネジメントとか、ハラスメント等も含めて、あるいは健康管理とかも含めて、もう教員1人というのは限界があるのではないかと個人的には思います。今の組織を崩せというわけではありませんが、何かしら共有しながら、職員に対しても、教員に対しても迎えるようなそのような体制が整うと良いということは、組織を今預かる身としても、何となく少し異質に感じております。逆もありますが、学校ごとでやりたいようにやれるというのもあるかもしれませんが、とにかくやっぱり校長の力量にかかってしまうので、今までやってたことが、先ほどの地域連携ふるさと教育の話をしたときも、いや前の校長先生は乗り気だったから積極的にやってくれたけど、今回の校長なかなかやらないとなってしまうと、なかなか連携性繋がりというのが途絶えてしまう可能性があるのも、人によってではなく、やはり学校として、連携していけるような体制作りが合わせてできたらいいと思っております。これも校長会のほうで若干話をさせていただきました。次は、働き方になりますが、これも部活動の地域移行という話もまた出てきます。これはただ地域性との選択の拡大というところもありま

すので、働き方っていう当初はそういう言い方してましたけれども、最近はなかなかそれよりももっと違う目的もっと高い目的でというふうになってるかと思えますけど、後ほど、デジタル化という形でいろんな生徒に対しても、デジタルを使っただけの ICT 化の波の中で、いろいろ事業も進めておりますし、やっておりますが、働き方という点で見たときに、例えば教員間の話であるとか、授業を進めるだけではなくて、学校運営として、うまく使って欲しいと思っています。保護者の間では、例えば LINE 使う部分で一斉送信したりというのはずいぶん合理化されてると思えますが、教員間であったり、もっと授業以外のところで、合理化に向けての、デジタル化という部分の戦略を練るもの必要ではないかと思っております。車座等いろいろ体験をした中で、学校に対する意見もございます。その中でやはり保護者の視点という意見もありまして、次保護者ということになります。やはり過度な負担を生じてるということを感じてる人もいます。それは呼び出しが多いとか、迎えに来てくれとか、そういうのがあったり、あとこれも校長会でちょっと話しましたが、災害との手前ですけど、注意報や警報が出ましたという中で、迎えに来てくださいというのが結構今雨が強く降ってるときもあるので、そういうときはやはり一旦、校舎の方で引き取ってもらって、安全性を確認してから保護者を呼ぶのも危険なときもあるので、少しそのような配慮をお願いしますということも、実際声として聞いたこともありますし、災害時の預かりなんかについても、今外に出すことが安全なのかどうかも、しっかり見極めてほしいということは、保護者からの意見もありますし、私もそう思います。もうずいぶんなされているということは学校側の方からも聞き取りしましたけれど、そのような点も今後、出水期を迎えたりすると、いろいろ気をつけてくださいというようなこととお話させていただきました。子供たちにも車座で少しお聞きしたことはあるんですけど、交流という意味合いで、例えば御嵩町の中学校であれば3つ、先ほど言いましたが小学校3つというようなものがお互いあんまり知らないという話が子供たちの間でありまして、何かお互いに同じスポーツをやったり、何か運動会じゃないですけど、なんかやれるといいねというような話も一部子供たちから出てました。それを実現しようと思うと大変なことはわかりますので、そういった他校との交流を望むという声も若干ございましたので、これもちょっと補足をさせていただけたらと思っております。一番はやはり、ふるさと教育であり、地域教育であったりというので、よくよく町側と一緒に連携していろいろやりましょうと。ふるさと御嵩という部分をしっかり把握いただいた上で、ぜひぜひ御嵩町にそのまま残っていただいたり、あるいは一旦は大学等が出るけど、出るかもしれないけれども戻ってきていただいたり、もしくは出られる

ことは全然絶対駄目とは言わないですけど、出た暁には御嵩町、自分の出身地はこういうところがすごくいいところだから、ぜひ皆さん来てよという広報大使をそれぞれの方がもっていただいて、PRしていただくと町としても大変ありがたいと思いますし、そういう街であり続けなければいけないというのを改めて思っておりますので、そこには力を入れていきたいと思っております。私からは以上でございます。

渡辺町長　　引き続き、教育委員の皆さんからご意見、ご提案などいただければと思いますが、せっかくなので、一通りご発言いただけたらと思います。

田中委員　　いろいろお話ありがとうございました。よくわかりました。教育委員になってかれこれ9年経ちました。全然教育という面では素人ですけど、最初は保護者対象ということで学校のほうをいろいろ拝見させていただいたり、授業の方を拝見させていただいたり、また他市町村の教育委員さんとお話し合いをする機会がありまして、私なりにも非常に勉強になったと思います。一番感じたのは安心安全の学校というのが大きな望みですけど、学習面で感じたことがそのさっき町長がおっしゃっていたことが、デジタル化これを進めるのにはお金がかかるということが痛切にいろいろ話を聞いて感じました。ただ、デジタル化の波というのは外せないということもよくわかりました。だからその全部全てデジタル化にするというのは危険も伴うということもよくわかったような気がしますので、今のいいところとそのデジタル化のいいところをチョイスして、ハイブリッドというわけではないですが、そのように子供たちにより良い勉強の場を与えたいというのが私の今思っているところです。国語、算数、理科、社会や各科目ありますが、授業を拝見させていただいて、一番今私が感じているのは、算数、数学の授業がやはり今のスタイルでは難しいのではないかというのを思います。先生の話聞いてわかる子と、聞いてもわからない子と、聞かなくてもわからない子が一番色濃く出るのが算数、数学のような気がしますので、そのデジタル化が進むと良いと思っています。以上です。

渡辺町長　　ありがとうございました。順々になりますか、よろしいでしょうか。

中瓦委員　　まず伏見小学校の改修が進む話を今日もちよっと聞きましたので本当にありがとうございました。私達はずっと懸案事項でしたので、とても嬉しいです。本当に昨年来ずっといろんな話をしてきた中で本当に嬉しいと思っております。私もまだ5年経ったところでやっと何か教育委員がまだはっきり教育委員が何をしなければいけないか

ということがわかってるわけではないんですけど、いろいろ勉強させていただく中で、自分なりにやはり教育はこうあってほしいとか少しずつ見えてきたような気がしているところですが、他市町村の方といろいろお話をする機会もある中で、この前少し研修会の際に少子化で、学校が統廃合という話がどこの地域でも大変問題に上がっている中で、幸い御嵩は今それぞれ小学校3校中学校3校でいけておりますが、今後、町長の考えの中で、一番その考えの中心になってくるのが上之郷の小・中学校だと思うんですけども、今後どのように考えてくれるのかというのは、やはり町長の意向というのものもあるかと思えます。もちろん地域の思いを含んでという話だと思えますが、私は最初教育委員になった時点では、やはり統合は必要ではないかと思っていました。やはり中学生になればもっと広い範囲で交流するとかを考えてやらなければならないと思ってはいたんですけど、今こうやって関わっている中でやはりその小規模のなかの良さがすごくいろいろ見えてきてる中では、必ずしも統合がベストな選択肢ではないと少し思い返してきている状態で、先ほどのデジタル化の話もあって、交流、先ほど町長おっしゃった交流の話もあって、今の形でも交流を密にしていくことで、もっともっと違う形で生かしていけるのではないかと少し思っています。デジタル化で本当に授業を一緒にやることもできますし、運動に関してだったら少し移動しても一緒にやるとか、大会でも一緒になるとかいろんな形でもう少し交流が先ほど難しいかもとおっしゃったんですけど、移動は今プールは移動していますよね。だから不可能ではないような気がするので、もう少しそこら辺を私達が勝手に決められないので校長先生たちのお話し合いの中もあると思うんですけど、いい形での交流ができていけば、子供たちにとってプラスになっていくのではないと思っております。以上です。

渡辺町長            ありがとうございます。一通りお聞きしてからまた意見交換という形にしたいと思います。山口さん。

山口委員            私もまだ教育委員の年数も浅いですし、その教育については素人どころか、ど素人な立場として意見を言わせていただきたいと思うんですけど、教育というか、もう学校子供たちには、自分で考えて自分で行動ができる自立した子供を育てなければいけないとっていて、自分たちの頃というのは、寺子屋方式の机の並びで、本当に受け身の時代だったと思いますが、やはりそれではいけないということで最近では自分たちで考えてやらなければならないとか、ただ単に年号を覚えて何年に何があったということを知るよりは、その中身を勉強して、それを今後生かしていくような流れに今変わってきたと思いますが、まだまだ実際に授業などを拝見させてもらおうと全

体的にやっぱり受け身の体制がまだ多いと思うので、そこら辺をみんなで小グループで議論して、順番感慨を言い合って、最終的に全体の意見になるような、進めた方ができると良いということを考えています。それとかやはり子供の小学校中学校の頃に、この先の目標がつかめるようにしてあげたいと思っていて、とは言ってもまだ小学生に将来何になったらいいよと言ってもなかなかその時点ではつかめないと思うので、やはりそういうヒントを与えてあげるのが先生だとか、私達大人かなと思っていて、そのためにはいろんな地域の、先ほどから出ている故郷の人と触れ合ったりすることも大事だし、逆にもうちょっと言うならばいろんな職業があったりいろんな学校大学とかあるので、大きい範囲でいろいろなものを見せてあげることによって自分たちの目標が捕まえられるようなことを築いていってもらえるといいなと思っています。あと田中さん中瓦さん言われたので、デジタルの話ですが、ちょうど中瓦さん言われたことと同じことを考えていて、例えば御嵩町の中で、スペシャルな先生とかがもしいらっしやったら、その教科については、そのスペシャルな先生に、ただ単に教えるだけのようなものは、1人の先生が教えて、各学校はそれを見ると、そういうようなものも取り入れれば、1人の先生で済んでしまうので、教員不足もそういうことで、多少は合理化のやり方となると思います。

渡辺町長 なるほど、町の遠隔を利用したのと、町としての組織体にしてしまうということですね。

山口委員 例えばそれで済む授業は、そういうのを取り入れていくといいかなと思ってお話をさっき聞かせてもらいました。以上です。

渡辺町長 ありがとうございます。

中島委員 私は保護者枠でここにいるので、保護者という立場でお話をさせていただくと、妻や子どもたちから先生の話の聞くと、先生が普通の人になってしまったと思っています。私たちの頃は先生が怖かったし、道徳力の高いことなんでしょうけれども、今の先生は仕事に対して少し不満を持ってるし、他の先生のネガティブなことも生徒に伝えてしまっています。そうすると、子供たちは先生はそうなんだ、大人はそうなんだとってしまうので、先生は子供たちの前では、道徳力の高い大人を演じてほしいと思います。もちろん、我々保護者も、そういうつもりで子供たちに接するよう努力していくのが、教育の育てるという責任だと思いますけれども、皆がそういう道徳力の高さを求めていくことで、優しい子供が育っていくのではないかと思います。あともう一点、学力というところで行くと、可児市とかに比べると、やはり御嵩の小・中学校はどうしても学力が低いと思っ

てしまうので、そこをレベルアップしていくのが大切だと思います。地元の小中の進学実績が良くなっていくと町外の出ている子育て世帯が、地元で家建てて子供を育ててもいいかと思うと思います。家を建てたりするときとか、多治見市で家を建てようとする、坪35万円とか土地がします。だったら地元に行けば坪5~6万円で買えるので、そこでいい家立ててしっかり子育てして、自然もしっかりあると思うので、学力アップというのは、一つの町の魅力になると思っています。

渡辺町長 わかりました。ありがとうございました。様々な意見ありましたし、私もありましたので、もし何かこれちょっとどういうことというのも含めてご意見感想があれば、お伺いしたいと思います。中瓦さんまず私からさっき統合の話は、基本私の中では今のところ想定はないんですけれども、保護者側から、もうこれでは立ち行かない今の学力の維持ができないという話が出てくれば、そのときは検討するということと、もう一つは、財政上の話もあるので、統合施設としての成り立ちができるかどうかというところは見ていこうと思います。そうでなければ、基本的には今の形の中でうまく交流しつつ進めていく方法を探っていきたいと思っています。ただ、実績として、特認校でやってますし、ある意味定着している感もあります。その中で実証もしたいですし、きめ細やかな教育という部分がよりできてる中で、これがNGだと駄目だというふうには言われたい限りは、基本的にはこのままいきたいと個人的には思っています。上之郷出身というのものもあるかもしれないですけど。

中瓦委員 小規模の良さがすごくやはりあるので、逆にそれをもっと良いものにしてアピールできるものにしていくことをもっと発信もできればしてきたしそれが人を呼び込む力にもなると思います。

渡辺町長 先ほどの話にもつながりますよね。山口さんが丹羽先生連れて、小中行かれたように、ああいうスペシャリティな人が小中って小回りきくので、結構触れ合っていますよね、上之郷って。なので、大規模になかなか行けないけれども、こういう人が町内にもいてという紹介をしながら触れたりとか、そういうことを我々もそういう機会があればどんどん引っ張っていきたいと思っておりますし、そういった意味で動けるということも非常に大事だなと思っています。

中瓦委員 もっとアピールができるといいなって思います。

渡辺町長 どうでしょうか。あと1つぐらいにして、30分までに終わらせます。

田中委員 皆さんの話を聞いて、前からも最後中島さん言われた多治見に住

むか御嵩に住むかっていう選択になったときという話もそうですが、私は思っているのは田舎で子育て学校を受ける教育を受けることのメリットの一つに、誘惑がないのが一つあると思います。街はかなりいろんなことに誘惑があるので、上之郷の子というわけではないですが、学校に行くと純粋な子が多いです。それが一番感じます。そういう純粋さというのはやはり誘惑がないということが大きいと私は思います。そういうところと一緒にアピールしてもらいたいと思います。それで学力がアップできれば多治見か御嵩という感じがなくても、今大人でもリモートの仕事ができるので、都市のほうに移住したいというのにも繋がると思うので、学力の底上げが必要だと思っています。以上です。

渡辺町長           ありがとうございます。あの折に触れて、ご意見いただければと思いますし、いろんなディスカッションしていきたいと思います。早速テーマもごございますので、本日の課題であります。中学校の部活動の地域移行についてということで進めさせていただきたいと思えます。説明のほどよろしくお願ひします。

尾崎指導主事           皆さんよろしくお願ひします。画面のほうは、今私各中学校回って、来年度入学してくる。小学校6年生の保護者さんと小学校6年生を対象に、これから中学校の部活動はこうなるということで紹介させていただいております。そのときに使っている資料です。向陽中バージョンになっていますが、そこをわかっていただいた上でお話しさせていただきたいと思えます。今日来ていただいている町長さん、教育委員様に関しては本当に部活動に関しても関心を持っていただいて本当にありがたいです。ですが、残念なことに、一般の方はほぼご存知ないです。中学校の本分は勉強と部活動で、部活動というのは、各学校で先生が指導するもの、土日も先生が指導するもの、それが当たり前、これが世間のイメージです。ですが、それを地域に担って地域の力を借りていこうというのが、この部活動地域移行です。少しその理由も説明させてください。先ほど町長からは働き方、働き方改革でというお話がありましたが、それもゼロとは言いませんが、それが中心ではないことを理解していただきたいと思えます。子供の数が減っていると同時に、部活で人が集まらなくてどんどん消えています。これがそのグラフになります。細かい数字は置いておきますが、かなりの勢いで減っているということがわかんと思えます。町内では向陽中学校は去年サッカーと、女子バスケット部が、部員がゼロになってなくなりました。今の中三をもってなくなりました。共和中学校も今テニス部が1人2人という状態になって新入部員がなければ、テニス部もなくなっていくと思われます。つまり少子化の影響です。それから、逆にいろいろなことを求められるようになっていきます。例

えば、上之郷中学校の生徒の中には、上之郷にはバレー部しかありません。でも、他のスポーツをさせてあげたいという子の意見があったり、保護者からは、嫌々であったけどもバレーを始めましたがやってよかったという方も今いらっしゃいます。部活に関して言うと、練習時間を増やしてほしいという人もいますし、土日の練習はやめてほしいという意見もあります。要は多様なんです。まとめてお話をさせて今いただきますと、一つ目、部員が減っていて維持できなくなっている学校が出てきています。二つ目、いろいろな価値観が生まれてきて、今までは部活は全員が入るもの、その学校にある部活で汗を流しなさい、興味を持って一生懸命練習しなさいというものだったのが成り立たなくなってきました。最後には全部やらせてあげたいという保護者の方、たくさんいらっしゃいます。保護者だけではないんです。子供たちの中にも中学校に、小学校小学生が中学生に上がるときに一番何を楽しみにしているかっていうと、部活がやりたい子、今もいっぱいいます。そこで、今部活を地域に戻していくことで持続可能なシステムを作っていく、これが御嵩町で行っていきたい部活動を地域移行、地域クラブ化というものです。では、どういうものなのか、もう少し詳しく説明します。これはスポーツ庁文化庁からも国策として、学校の部活動を維持していくために、地域に力を借りていきなさいということがかいてあります。細かいので今日は割愛させていただきます。今後御嵩町のクラブに移し、やり方を簡単に説明していきたいと思います。今、部活動はどう行われているかという、各学校ごとに行っています。各学校で、土日に関しては、学校の先生が極力もう指導に入らない地域の指導者の方をお願いしていただくという形で、今年、令和5年度はやっております。来年もそれでやっていく学校のクラブチーム、部活動とあります。ですが、令和6年度、今年、こうしていきたいという一つの方向性として、合同クラブというのを考えています。何かと言いますと、さっきの共和中学校のテニス部がいい例なんですけど部員1人2人ではもう来年団体戦には出られません。練習もままならない状態ですが、向陽中と統合することで、一緒に練習すれば向陽には20名近くの部員がいます。団体戦にも出るし、練習も一緒にやれるというのが合同クラブです。テニスを例にして話しさせていただきましたが、他の種目についても合同クラブを作って練習していきましょう。つまり、単体でやってもいいし合同でもやってもいい。ただし、土日の活動は地域指導者に指導をお願いしましょう。私言い忘れましたが、学校の先生が指導することの一番のデメリットは何かっていうと、素人が指導するということです。私自身もそうでした向陽中時代最後の時はバスケ部を顧問させてもらいましたが、私バスケの経験ゼロでした。最初子供に声をかけた言葉は、バスケはボールを持って何歩歩いていいのかと僕は声

をかけました。そんなものが指導者をやっている状態が、今の中学校の部活です。たまたま知っているときには偉そうな顔して顧問できますけども、知らない顧問になったときは、指導者のていを成さないような状態になります。そこに地域の指導者に、経験のある方に入ってもらことによって、本格的な専門的な指導をしてもらいましょうというのが一つこのクラブ移行の意義にもなっています。話が戻りましたが、今5年度、6年度の話をしました。7年度にはこうしていこうと思っています。何かといいますと、どの中学校に入っても、どのクラブ活動にも所属することができます。上之郷中学校には今バレー部しかないとお話をしましたが、上之郷中学校の生徒も、共和中学校でバスケを練習しに行くことができるようになります。逆に共和中学校にバレー部がありませんが、共和中学校の生徒も上之郷中学校でバレーを習うことができます。向陽中も同じです。男子バレーは向陽中にはないんですが、上之郷中学校で練習できるようになります。今既にもうそれを行っています。男子バレーそれから野球それから女子バスケットに関しては、どこの学校に所属しても、練習に参加できるこの合同クラブといいますか地域クラブが今もう動きつつあります。先ほど向陽中で使ったものを紹介しましたので、向陽中学校では今どれだけ部活に所属できるかということ、もし地域移行していなければ、向陽中の子はここから選ぶことしかできませんでした。でも、地域移行をしたことで、共和中に行けば野球と女子バスケットボールはやれます。上之郷中学校に行けば男子バレーボールも入れます。これだけ選択肢が広がったというのが、地域移行のメリットです。先ほどお話しした他の中学校でも入部できるのはこの三つだけです。でも、これが令和7年には、ここにあるのは全部どの中学校からでも入部できるようになるというのが、この地域移行です。もう少し説明させてください。その取りまとめは誰がやるのか。今までは学校ごとにその部活がありましたので、入部の手続きだとか部費を集めるといったようなことも、各学校でそれぞれが行っていました。でも今度はどんどんいろんな学校から入ってくることになるので、事務手続きから指導からいろいろ複雑になっていきます。それを取りまとめさせていただこうと思っているのが、御嵩町総合型地域クラブです。今は名前がないので御嵩町総合型地域クラブとなっています。ここを事務局として、どの学校からでも参加できるよというようなクラブをいくつも作って行こうと思っています。今はないですが、どうなるかを今考えていて一番可能性が高いと思っているのは、今既にあるみたけスポーツ文化クラブの中に中学生のこのクラブの枠を作っていただいて、そこで事務的なことについて管理していただくというような方法を考えております。指導者もこの事務局から相談するとここで募集や面接で任命したり、指導講習までを

ここでやってもらいます。ただ、これは事務局が全てやるというのではなくて、例えば指導者の指導というのはなかなか難しくて指導者にはいろいろな方がいらっしゃいます。子供と普段接している学校の先生は、子供の扱い方に関しては、たけているのかもしれませんが、全くの知らない人が、今まで部活動命っていうような体育会系のゴリゴリの人が来たときに子供にきつく、下手したら何か体罰だとか、ハラスメント的な指導をしてしまう可能性があります。そういった指導をしなければいけません。そういったところにはやはり、学校であれば教育委員会から指導講習会を開いてもらう、開くっていうような関わり方が必要だと思いますし、部活動での悩みなんかを聞くときには、やはり学校の先生により沿っていただくのが一番子供たちは安心なのかなと思いますので、地域移行という言葉を使っているの、学校から丸投げしようとしているように聞こえてしまうかもしれませんが、今それぞれの役割分担を整理して、地域と学校と保護者で分担しようというのが地域移行だと思っていただけるとありがたいです。ですので令和8年度には完全移行、7年から学校からの募集を始めますが、8年度にはこの仕組みを完成させていきたいと考えております。

これが地域移行の全体像です。この図が。皆様お手元にもある資料に載っております。ここから少し細かい質問等がありますが、皆さんにお配りしたものの、Q&Aが載っておりますので、そちらを見ていただくと、細かい質問に関してはお答えさせていただいているかと思えます。時間もありますので省略させていただきますが、地域移行についての全体としての動きはこのようになっています。

渡辺町長 質問等ありましたらどんどん言っていただければと思います。

中島委員 事務局というところで、事務局を今社団法人のスポーツ文化倶楽部の職員の方々がやられるということですが、何名の方でやられるのでしょうか。

尾崎指導主事 今現在4人の方がスポーツ文化クラブで動いてくださっているんですけども、規模が大きくなるということで、ちょっと人を増やしていただくような動きが、この先必要になると思います。7年度から、そこが必要になるとこの6年度中にその動きをはっきりしていかなければと思っています。

中島委員 私、育成協議会をやっているときに、生涯学習課なのか、育成協議会の担当の方いらっしゃるとは思いますが、結構精神的なメンタル的なプレッシャーを受けていたような感じがしました。今回このスポーツクラブになると、保護者からのいろんなプレッシャーなど来る

と思うので、その辺のケアをしっかりとしないと、途中で長期休暇に入ってしまう可能性もなくはない。その辺のところをしっかりとケアしてもらいたいと思います。

渡辺町長 おっしゃるとおりだと思います。結構大変だと思います。

中島委員 この移行は全然問題ないと思いますが、事務局はつらいと思う。

尾崎指導主事 私も部活動指導してきて、保護者の方からのプレッシャーというのは常々考え感じていました。実際に今の中学校でも、この部活動を苦に休職される先生は非常に多いです。ただ、今まではそれを全て学校の指導者が全て担ってきたシステムだったので大きかったと思います。このシステムになったときには、もちろん事務局の方に今まで以上の負担はあるかもしれませんが、ただ学校とその事務局、あと保護者の方の力というのが入ってくるので、そのプレッシャーを3等分できないかなってような思いがあります。この辺も思ったよりうまくはいかないとは思いますが。

中島委員 みんなが同じ方向に向いて3本の矢になれば強いと思います。

尾崎指導主事 1ヶ所に集中するというのは本当に良くないと思って、そこは気を付けていかないといけないと思う。

渡辺町長 ありがたいです。そのほかいかがでしょうか。

田中委員 移行するのは前から聞いているので、理解はしているつもりですけど、部活動、子供でもやはり中学生で力があり余る子はたくさんいると思っていますので、発散する場所をなくさないで欲しいという思いがあって、やはり違う場所へ連れていかないといけないという親御さんの不安はかなりあると思うんですが、同じスポーツを通して試合に出たりして、汗を流してその時間を共有して、得られる時間というのがあるのは承知してはいますが、少し前にテレビで見てたんですけど、明石家さんまさんが、中学生の基礎部というのを作って、基礎体力をつけるための部活を作って中学の時はやっていて、高校になってやりたいスポーツを始めたという話を聞いて、中学、各校に基礎部というのがあって、発散できたりする場所、その何でもやるスポーツのクラブみたいもので、特化しないというチームが一つずつ、各校にあると、何かの部活に所属しなくてもいいと思いました。

尾崎指導主事 今の話で、クラブでこの事務局がその管理をしていくと思うんですけども、新たなスポーツのクラブを作っていくっていうのもこの先には8年度以降には歓迎できる時期が来ると思います。そのときに筋トレ部というのか、基礎トレーニングっていうのがまたその立ち上げの志を持った方に考えてもらえばいいですけども、今までみ

たいな、要は部活動っていうのはこういうものっていう概念をとっ  
ぱらえると思いますので、変な話、これがこのシステムになっていけ  
ば、eスポーツ部みたいなものを作ることも可能ですし、ボルダリン  
グとか、それぞれ興味を持ったものに指導者さえ協力していただ  
ければ新しいものを作っていくことは可能なので、田中さんのお話っ  
ていうのは、本当にそのようになっていったらいいなど、これが本当  
に生涯スポーツとかに繋がっていく仕組みになってほしいと思っ  
ています。

渡辺町長           あとはいかがでしょうか。

山口委員           今いろいろなメリットが出てきていて、そのデメリットをどうし  
ても心配になることが2つほどあって、一つはさっき尾崎先生が言  
われたけど、バスケットは専門ではなかったけど、その技術の指導は  
できないかもしれないけど、尾崎先生だからっていうこの安心感が  
すごいあったと思います。ところがこれが先生じゃないところへ行く  
という不安というのは、裏の不安としてはどうしても出てくるのが  
一つ。さきほどいろいろなものは教育していくということですが  
も、そういうことがあるということが一つと、もう一つは、前にこれ  
町長にも少しお話させてもらって、例えば今までだと上之郷の中学  
校の部活は上之郷の行事があるので、この日はこちらに協力してく  
ださいというお願いをしておけば、やってもらえたものがこういう  
形になるとそういったことの小回りが少し利かなくなる。さきほど  
の小規模のいいところがなくなるという意味で、地域との連携とい  
う部分では少し難しいことが出てくると思っていて少し今、中学校  
の先生方も若干、私の思い違いかもしれないですけど、今土日、日曜  
日もやらないですかね。そうすると、やはりちょっとそこから私達知  
らないよってというようなかんじに見えてしまうところがあるので、  
そういう意味で連携という部分が少し希薄になってしまうというこ  
とを思っています。

渡辺町長           ちょっと私も今の山口さんの意見に少し付け加えたんですけど、  
先ほどの先生がお子さんの部分の通常学校生活とか、メンタルの部  
分も含めてケアしますという話もありましたけど、学校側は関与し  
てもらえるのでしょうか。

尾崎指導主事       学校でこのお話を紹介させていただくときには同じように学校の  
手を離れたというような捉え方はやめてくださいというのは伝えて  
います。

渡辺町長           もう今現実に山口さんではないですが、そう思ってる先生はたく  
さんいます。

尾崎指導主事　　そうですね。やはり第一歩は知っていただくということが何事も大事と思うので、多分学校の先生たちも、部活というのが自分たちの手から離れたというところは知りました。でもその先にある、この先学校が担っていかなければならない役割というのがあるというところはまだ伝わりきっていないと思うので、そこは私もこの先進めていく中での大事な仕事と思うので、あらゆるこれに関する相談の場には学校の先生、顧問の先生にもはいつていただきたいなと思っていきますし、その中で、子供たちの心に寄り添う専門家はやはり学校の先生であることは忘れてはならないと思いますので、これはもう学校の先生は部活のことだけに関わるわけではないですから、あらゆる悩みことを聞いて励ましてアドバイスしてというところは先生たちに今まで以上にやってほしいというのは伝えていこうと思っています。

渡辺町長　　冒頭に私、働き方の事例を一つ出しましたが、そういうのを出すことによって伝わると思ったのですが、そのように認識している先生方もいます。働き方改革だからそのために部活を地域に出したので管理をしてはいけないという思いの人もいます。逆にもう本当部活は一緒にやって僕はバレー得意なのでやりたいけれど、やれないのかという先生もいたりします。だから、これはもう、教員である尾崎先生等々が非常にたよりになると思うんですけど、そういった点もケアをもしお願いできたらと思います。

尾崎指導主事　　地域の連携なんかも個別の話として多分やっていかないといけないと思いますので、また今後、どこまで影響力があるかわかりませんが、そういったところで知ってもらおうということが第一歩だというスタンスはこれからつけていきたいと思っています。

渡辺町長　　指導者への指導とか、不安とか、指導者への不安、そっちの方もどうしてもやはり付きまとう。新しい人であれば、つきまとうてしまいます。

尾崎指導主事　　指導者への講習などについては、今後外部の方にも来ていただいて行っていきたいと思っています。

渡辺町長　　なるほど。若干、私、一、二だけなんですけど、今の話の中で町としても関連するのが費用面です。移行するにあたって多分今の事務局で人を雇うとか、いろんなどころでどのような試算的なもので、想定して見えるのかということとはまたゆっくり聞かせていただきたいということと、先ほど中島さんの話もありましたけども、その事務局はここで担うとすると、ある程度本当に専門的な人で、プラスで雇っていないと今の中では多分できないと思うので、そういったお金

もさることながら、そういった人がちゃんと来てくれるというような運営をする人って意味ですけど、そういうところも。一つ窓口として出てくるだろうっていうことがありましたので、あと保護者さんの側からすると先ほど少し触れてみえましたが、移動に関して例えば平日に部活をやるのかやれないのか、移動が伴うために、お母さんはまさかあの呼び出して移動させますかという話とか、休日なら今もやってるとかできると思うんですけどとか、そういう足の問題がどうしても物理的に3校共有するということになると出てきてしまうというのが、これクリアしていかないといけないかなと思います。

尾崎指導主事 移動に関して言うと、基本、土日は自転車で移動します。平日放課後部活動は今後なくなっていきます。

渡辺町長 全くゼロになるのですか。

尾崎指導主事 令和8年、令和7年度から全くゼロになります。

渡辺町長 はけ口がなくなるわけですね。

田中委員 なので月曜日から金曜日ぐらいまではみんなこの部活にいても基礎体力だけつける、そういうことを探してほしいという思いだったんですけど。

渡辺町長 上之郷だと、山口さん。全体タイプみたいなやつを全校タイプのやつがありましたけど。

尾崎指導主事 おっしゃりたいことはすごくわかって、今日出てきたご意見って、どれもやった方がいいということですし、今日出てきたいろんなそういう考え方もあるんだというのをどれか1個これをやってくださいと言えば多分やれます。ただ全部やろうとすると、それは選ばないといけないですし、新しいことを始めるときには何かをなくさないといけない。例えば、今の放課後の何かストレス発散ではないですけど、体を動かす場を考えた時に、今、学校の生活の中で、与えられた時間でそれを確保しようと思ったら、例えば6時間目の授業をやめるとなればできると思います。でも、現実的には6時間目の授業をなくすことはできないですから、すごく面白いアイデアだと思いますし、それだけやろうと思えばできるんですけども、何かを削らなければいけないということを考えると、どうしても躊躇してしまうと思います。その真ん中を何とか行こうという形が、土日はその地域で指導者に入っていただく。平日もしやっていくのであれば夜の体育館を使えるようなシステムなんかは今後作っていけるかなと思います。今までの部活動は、さきほど一番初めに今回言った中学校の部

活動では、中学生の学校生活というものはこういうものというのをとっぴらっていかないと、多分、部活動もそうなんですけども、今までにもない形に変えていかないと多分時代にあったものになっていかないような気がします。すいません、僕もできませんというのは言いたくないもので、とにかくできる方法というのをすごく考えて、現場にいたときも先ほどのいろんなどの部にも通じるような基礎トレーニングという考え方を提案したこともあったんですけど、やはり時間を何かをなくさないといけないというようなものは常々ついてまわります。

渡辺町長        ありがとうございます。6年度、今年からの試行的な部分も含めて、若干1年間ぐらいは猶予あると思いますので、その間に、尾崎先生、もう各クラブを回り回っていただいているので今、もうどこ行っても私お見かけするんですけど、それぐらい保護者とも一生懸命話していただいて、ニーズであったりとか、補足するところっていうのは今かなり聞き取って見えるので、その部分を形に来年度整えていくという形になるかと思えますけれども、ぜひぜひ、いろいろな風当たりはあるでしょうけど、いいものができるといいと思います。みなさんまた、ご意見のことお伝えいただければと思います間接的でも結構ですので、気づいた点がありましたら、お伝えいただければと思います。ひとまず地域移行の話については閉じさせていただきます。その他で何かお伝えしたいこと等ございますか。

各委員            大丈夫です。

わかりました。時間が来ましたので、他にご意見なければ、これで会議を終わらせていただきたいと思います。事務局これでいいでしょうか。

事務局            大丈夫です。

渡辺町長        では大変貴重な時間、ご意見ありがとうございました。いろいろ参考にさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。今日本当にありがとうございました。

12 : 05 閉会